



9月号 2020年9月14日(月)豊田西高校 SSH委員会 1年2組SSH委員

夏のSSH事業 内容報告

核融合科学研究所オンライン研修

令和2年8月6日(木) 14:00~15:30
豊田西高校 化学室

~参加者のコメント~

現代だけでなく、未来での活躍も期待されるエネルギーについて詳しく知ることができ、有意義な時間を過ごせました。



トヨタ自動車エンジニア出前授業

令和2年8月4日(火) 14:00~15:30
豊田西高校 視聴覚室

~参加者のコメント~

最先端のロボットを開発する方の話を聞くことで、技術のことや一つの目標に対する心構えについても理解することができました。



豊田西高校 SSH 成果発表会

令和2年10月23日(金)
12:45~15:40(予定)

これまでの課題研究で研究してきた成果の集大成を発表します。



(昨年の成果発表会)

今月の科学!



先日、友人に質問を投げかけてみた。「地球からの距離が一番遠い人工物はなんでしょう。」友人は少し悩み「アポロ宇宙船」と答えた。自分の考えていた答えとは違っていたがカテゴリーは同じであった。しかし、今回の答えは「ボイジャー1号」(惑星探査機)だ。このボイジャー1号について知っている人は少ないと思う。しかし、私たち(西高生)が生まれるずっと前から宇宙空間を飛び続けているのだ。

ボイジャー計画が始まったのは1970年代、アメリカのNASAによって惑星探査を目的に計画された。1977年の秋にボイジャー2号、1号の順番に打ち上げられた。2つのボイジャー号は木星、土星、天王星、海王星、タイタンなどに接近し、とても貴重な資料を送りミッションをこなしていった。

しかし、ボイジャー号たちには最後に大きなミッションを残している。それは、地球外知的生命体により発見され、回収されることだ。ボイジャー号の機体内部には「ゴールデンレコード」と呼ばれる、地球外知的生命体への「手紙」が入っているのだ。そこには地球の生命や文化についての音や画像が収められている。(日本からは尺八曲、鶴の巣籠が収録されている。)このミッションは地球にいる私たちからは、今現在の技術では確認することができない。そのため達成できないかもしれない、もしくは遠い未来に達成するかもしれない。けれど、いつの日かこのミッションが達成されることを夢見てボイジャー号の機体に期待をこめたい。しかし、ボイジャー号はまだ太陽系すら出ていない。もしも太陽系を脱出した場合どんな世界が広がっているのか、そこには地球外知的生命体は存在しているのか、などを考えるととても夢が膨らむ。

宇宙は謎だらけの場所だ。これからその謎だらけの場所について、様々なことが明らかになっていくことがとても楽しみだ。そう遠くない未来、ボイジャー号を見つけた宇宙人が地球にきて、「お隣さんはアンドロメダ銀河出身だ」なんてことがあるかもしれない。ほかにも、今よく目にする「グローバル化」の文字が「スペース化」に変わるかもしれない。そう考えると、とても胸が躍る。これからの天文学からますます目が離せない。

